

好きな言葉（PTA役員会配布資料）

260911

人生の実力とは、どのような状況となっても、その状況を幸せと思える力



左の絵は、徳川家康が三方ヶ原の戦いに武田信玄に敗れた時、この悔しさを忘れないために描かせた絵と言われています。いくさに負けた呆然とした思い、これからどうしていこうかという不安が、この絵から感じとれます。その時の思いを生涯忘れないために描かせたというのは、家康の「すごさ」だと思います。さすが「人の一生は重き荷を背負いて遠き道を行くがごとし」「過ぎたるは及ばざるがごとし」と言い切った家康です。名古屋の徳川美術館に展示されています。一度ご覧下さい。

人生の実力は、事を成し遂げる勢いでも、成し遂げた成果でもありません。人生の三つの坂「上り坂」「下り坂」「まさか（真坂）」の場面で、たとえどのような状況となっても、その状況を受け入れ、幸せと思うことができるかどうかだと思います。人生の実力、それは今、目の前の課題に対し、自分が持っている力を発揮できるかにかかっています。

子育てをやり直せるなら

もし子育てをやり直せるなら 家よりもまず子どもの自尊心を築きます。
間違いを直そうとばかりしないで 子どもともっと心を通わせます
時間ばかり気にしないで 子どもの成長を見つめます
知識ばかり詰め込もうとしないで 心を思いやりいっぱいにします
もっとハイキングに行つて 広い野原で子どもと一緒にたこをあげます
深刻ぶるのはやめて 子どもと夢中になって遊びます
広い野原を一緒に駆け回つて 空いっぱいの星をじっと眺めます
子どもの身のまわりの古きものより 自分につながる人や時間を意識します
意地をはらないで 子どもをもっと抱きしめます
目先のことだけにとらわれないで もっと長い目で子どもを育てます
うるさいことばかり言わないで もっと子どもを褒めてあげます
何よりも子どもの話をさえぎらないで 目を見ながら聴いてあげます
そして、成功や権力だけを追い求めるのではなく
自分以外の人のことを思いやる素晴らしさを 子どもと一緒に感じます

（ダイアル・ルーマンズ）